

1 if design project とは？

あなたの“もし…”が、**茨城の未来**を変える。

フィールドワーク + 講義 + ワークショップ による実践型デザインプロジェクト

もしも茨城県が、魅力度ランキング全国1位になるならば…
もしも茨城県が、世界一住みやすいエリアに選ばれるならば…
そんな夢みたいなことを茨城県は本気で考えています。
その発端があなたの考えたアイデアからと信じて。

全国都道府県魅力度ランキング6年連続最下位の茨城県と称されていますが、それを払拭するような未来のプロジェクトをあなたならどう描きますか？

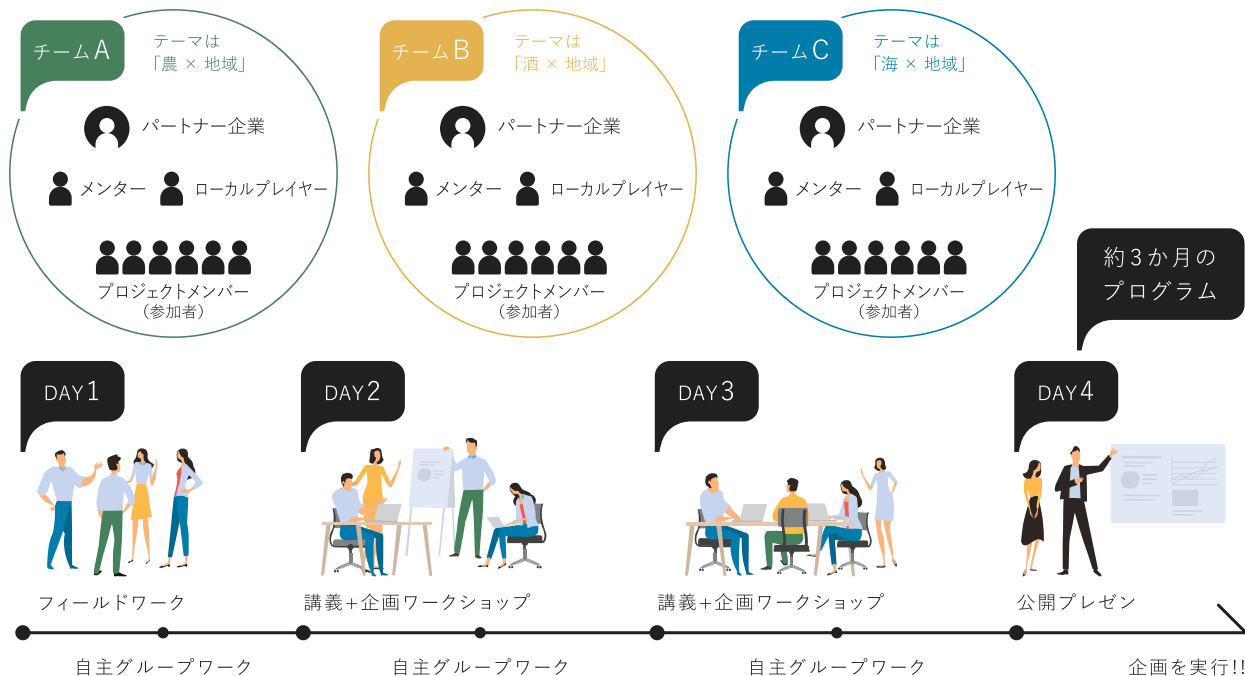
日本を、茨城を、地域を良くしようと活動を続ける様々な地元企業の

リアルな課題や茨城の魅力を、フィールドワークを通して学び、異なるバックグラウンドを持つ受講生たちと共に課題解決の企画を行います。

約3ヶ月間、茨城と東京で、「もし」自分たちだったら何をやるか、何ができるかを企画・デザインします。

if design projectは、地方を支える地元企業への、実践的な企画提案を通じて、企画力を育むとともに、一緒に企画・実行する仲間を見つけ、自らの今後の働き方、生き方を問い直すプロジェクトです。

プログラムは提案して終わりではなく、その後の地域・企業との関係性が築かれ、自分たちで実行していくことまでを想定しています。



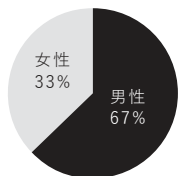
2 募集要項・参加者属性(2019年度)

20名の募集をしたところ、**44**名が応募。

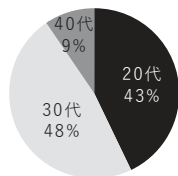
志望動機等を踏まえ、選考により、**21**名のプロジェクトメンバーが参加。

プロジェクトメンバーの職種

- ・ UI/UX デザイナー
- ・ 外資系企業の企画営業・コンサルタント
- ・ 各種ディレクター・デザイナー
- ・ 看護師 etc.



プロジェクトメンバー
の男女比



プロジェクトメンバーの
年齢構成比

募集要項

募集対象

- ・ 茨城県と関わりたいが、きっかけを探していた方
- ・ プロジェクトデザインを体感したい方
- ・ 普段と異なる社会人とチームを組み共創し、自らの可能性を広げたい方
- ・ 地方で何かコトを起こし、自らの生き方や働き方を考えてみたい方
- ・ 自らの経験（デザイン、マーケティング、プロモーション、事業企画、コピーライティング、まちづくりなど）を活かしてみたい方
- ・ とにかく茨城が好きで仕方がなく、茨城に貢献したい方、いつか茨城で住む、働いてみたい方

参加条件

- ・ 熱意とスケジュール通り参加できること

募集人数

- ・ 20人

参加費用

- ・ 3万円

3 テーマ(2019年度)



「農 × 地域」

農業大国いばらき

農を通じた都市と地方の関係をデザイン

茨城県は全国トップクラスの農業大国。中でも宮崎協業は、県随一の大規模農地で農業を行い、あらゆる技術を使い、農作物の生産だけでなく、加工や流通まで行う6次産業化を進める農事組合法人。この宮崎協業の農業を軸にしながら、結城市外に住む人たちが、農業を通じて、結城市との関係をつくるためにどうすればよいか、考えます。



「酒 × 地域」

関東屈指の酒処

「茨城の酒」のファンづくりを通じた伝え

茨城県は、関東一酒造数が多い県であるにも関わらず、日本酒消費量は少ない県。中でも明利酒類は日本酒、梅酒、ウォッカなど様々な酒類を展開する確かなモノづくり力を持った総合酒類メーカーです。この明利酒類のお酒を軸とし、マーケティング、プロモーション、デザイン等、多くの人に茨城の酒を伝え、ファン化させるにはどうすればよいか、考えます。



「海 × 地域」

海水浴のその次へ

通年楽しむ海の未来を企画

大洗の海は、快水浴場百選にも選定された日本を代表する海水浴場の1つ。キャンプ場や水族館、フェリーターミナルなど、様々なアクティビティもある一方、全国的に海水浴離れが課題となるなか、大洗においても海水浴客は減少傾向となっています。大洗の多様な資源を生かし、海水浴だけに頼らず、通年楽しむ海の未来をデザインします。

4 各チームを支える講師陣(2019年度)



「農 × 地域」

井本 喜久

IMOTO YOSHIHISA

一般社団法人 The CAMPus 代表理事
2017年「世界を農でオモシロくする」を
テーマにインターネット農学校 The
CAMPusを開校。約60名の凄腕農家さん
を教授陣に迎え、農的暮らしのオモシロさ
をワンコインの有料ウェブマガジンとして
配信中。全国の様々な地域で限界集落や
耕作放棄地、未活用の施設などを再生す
るプロジェクトをプロデュース中。



「酒 × 地域」

石川 俊祐

ISHIKAWA SHUNSUKE

kesiki inc 共同創業者／パートナー
英国 AZUMI スタジオ、パナソニックデ
ザイン、PDD イノベーション UK 等を経
て、IDEO Tokyo の立ち上げに参画し、
デザインディレクターとして多様なプロ
ジェクトを担った。2018年にはBCG デ
ジタルベンチャーズに参画。著書に
『HELLO, DESIGN 日本人とデザイン』
(幻冬舎刊)がある。



「海 × 地域」

馬場 未織

BABA MIORI

ライター／NPO法人南房総リパブリック
理事長
2007年より「平日は東京、週末は南房総」
という二地域居住を家族で実践。2011年
に農家や建築家、教育関係者、市職員らと
任意団体南房総リパブリックを設立。里山
学校、二地域居住トライアルシェアハウス
運営などの事業を手がける。著書に『週末
は田舎暮らし』(ダイヤモンド社)など。

DAY 1 - Fieldwork

海×地域(大洗町)



農×地域(結城市)



懇親会の様子



酒×地域(水戸市)



DAY 2-3



講義の様子



企画ワークショップの様子





平日夜にメンターとミーティング

休日や平日夜時間を使ったディスカッション



茨城を伝えるイベントを都内で開催



提案前から地域で試行的なイベントを開催



DAY 4 - Presentation

プレゼン終わりの集合写真



次のアクションに向けたディスカッション



県内・外のプレイヤーのネットワーキングタイム



約100名の方が訪れた会場にて、プレゼンテーション



@ City Lab TOKYO

5 各チームの提案内容(2019年度)

農 × 地域



結城の農を絡めた
「モノ・コト・バ」を企画

「畑」と「食卓」を結びなおすをビジョンに掲げたプロジェクト・会社設立を企画。「モノ・コト・バ」幅広い事業展開を提案。

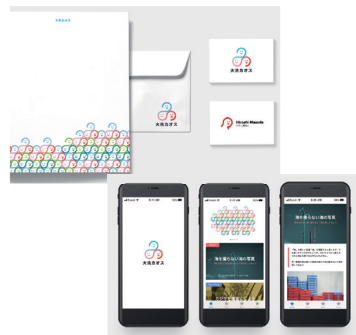
酒 × 地域



1本のお酒だけを提供する
場づくりやアプリ等への展開を企画

じっくり茨城県の1本の日本酒に向き合い、じっくり味わってもらおうお店「いっぽんのお酒、」を企画。その後のコンテンツやアプリ展開まで提案。

海 × 地域



お洗の地域性を捉え直し、再編集。
イベントからグッズ・アプリ展開を企画

町のエリア特性を捉え直し、多様なお洗という町を「大洗カオス」というコンセプトのもと、再編集していく、コンテンツや商品企画を提案。



if design project

茨城未来デザインプロジェクト

www.if-design-project.jp

2019年度 第2期実施

主催：茨城県 企画・運営：株式会社リビタ、茨城移住計画 冊子デザイン：山下大介（if design project第1期メンバー）